

床 下

押入・クローゼットの湿気 気になりませんか？



押入やクローゼットの湿気やカビは気になりませんか？

こんな状態は要注意です。

- 押入の荷物を出したら、押入の床が波打っていた
- 押入にカビがはえた
- 湿気が多くていつも除湿剤をおいている

押入やクローゼットから、床下の点検ができます。

腐朽菌と床下の湿気

木材の腐朽の主な原因は樹皮の傷ついたところに「腐朽菌」といわれる菌が付いて繁殖し、木材基質を分解することによって起こります。

木材の主成分を分解されてしまうと、木材は強度を失ってしまいます。土台や柱など家の骨組の部分の強度が弱くなると、屋根や壁を支えることができなくなり、家の寿命がぐっと短くなってしまいます。



腐朽菌が発生した床下

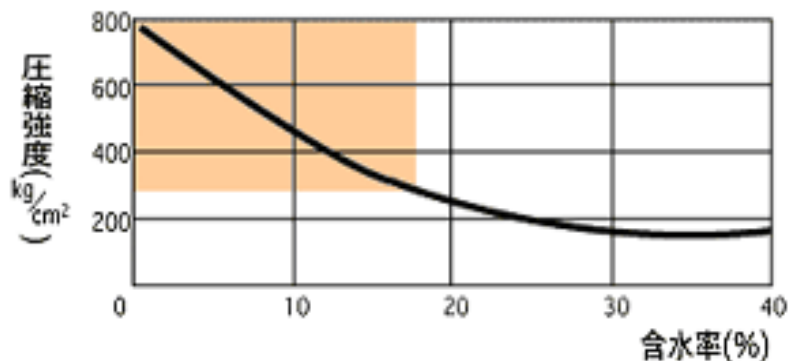
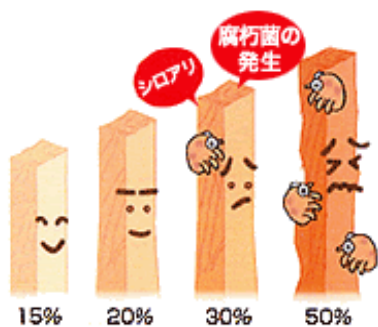
木材の含水率と強度

腐朽菌がつかないようにするためには、水分が滞留しないようにすることが大切です。

含水率でいえば「20%以下」であれば腐らないし、強度が低下することもほとんどありません。

木材の強度がもっとも高いのは含水率10~13%です。20%を超えると、腐朽菌やシロアリが発生しやすくなります。

床下の湿気の管理が、建物の強度を維持するポイントです。



床下点検

普段なかなか見る機会のない床下ですが、家を支えている大事な場所です。床下のメンテナンスで、より長持ちする家になります。

点検して湿気が多くみられた場合でも、床下調湿材を散布すれば、多くの場合、湿気を抑えることができます。まずは、お気軽にご相談ください。



調湿剤 散布前



調湿剤 散布後